

豊かで 住みよい 町づくり

上勝

Vol.

65

議会だより

2017. 5. 1 発行

- 
- 2P 定例会 補正予算
 - 3P 新年度予算
 - 4P 審議案件と議決結果
 - 5P 主な質疑・討論
 - 7P 一般質問
7名が町政について質問
 - 14P まちのようす

平成29年度 一般会計当初予算

総額 26億3,700万円 6名の賛成で可決

昨年度の一般会計当初予算、27億3,200万円から9,500万円減額した。目を引くものには地域おこし協力隊関連 4,784万円、集落再生プラン関連 3,346万円、ローカルベンチャー推進事業 2,451万円等がある。

当初予算の様子を家計に例えてみました

収入				支出			
収入の種類	収入(円)	構成比(%)	平成29年度の歳入	支出の種類	支出(円)	構成比(%)	平成29年度の歳出
年収	165,019	5.0	町税	ローンの返済	419,148	12.7	公債費
預金取崩し	580,866	17.6	繰入金	家の購入・改築車の購入など	514,859	15.6	普通建設事業費 災害復旧費
雑収入 (パート収入等)	165,019	5.0	使用料・手数料 分担金・負担金 財産収入・諸収入 寄附金	衣食費	597,368	18.1	人件費
前の年の節約	16,502	0.5	繰越金	自治会費・交際費 同好会費など	300,334	9.1	補助費等
親からの援助	1,438,964	43.6	地方交付税	子どもへの仕送り	260,730	7.9	繰出金
	244,228	7.4	国庫支出金	電気・水道・ 消耗品など	792,090	24.0	物件費
	339,939	10.3	県支出金	教育費・医療費	297,034	9.0	扶助費
	49,506	1.5	地方譲与税	預金	62,707	1.9	積立金
	19,801	0.6	地方消費税 交付金	家、車などの修繕費	42,905	1.3	維持補修費
	6,601	0.2	その他の交付金	生命・損害保険 など	3,300	0.1	投資及び出資金 ・貸付金
新しいローン	273,930	8.3	町債	急な支出に備え て準備	9,900	0.3	予備費
計	3,300,375	100.0		計	3,300,375	100.0	

年収の額は、町の29年度当初予算額を町の世帯数で割算したもの。
29年度当初予算額 26億3,700万円
世帯数 799世帯(H29.4.1)
年収の額 3,300,375円

平成29年度 特別会計予算

総額 8億7,039万円 全員異議なく可決

- 国民健康保険(事業勘定) 2億5,200万円
 - 介護保険 3億6,200万円
 - 国民健康保険(診療施設勘定) 1億2,200万円
 - 国民健康保険(福原診療施設勘定) 2,450万円
- 簡易水道事業 6,100万円
 - 奨学資金 324万1千円
 - 後期高齢者医療 4,400万円
 - 高鉾財産区 85万円
 - 福原財産区 80万円

補正予算

平成28年度 上勝町一般会計補正予算 (第4号)

全員異議なく可決

一般会計

補正

1億3,056万7千円減額

総額 30億9,055万9千円

減額の主なもの

- 地籍調査 5,002万8千円
 - 都市農村交流センター 1,179万9千円
修繕基金
 - 工事請負費 2,440万円
 - 彩山用地購入事業 573万4千円

平成28年度 特別会計補正予算 (補正第1・2号)

平成28年度 上勝町国民健康保険特別会計補正予算 (補正第2号)

補正 625万3千円 減額 総額 3億1,280万2千円

平成28年度 上勝町介護保険特別会計補正予算 (補正第2号)

繰越明許費 98万円

平成28年度 上勝町国民健康保険(診療施設勘定)特別会計補正予算 (補正第2号)

補正 200万1千円 追加 国保会計繰入金 総額 1億1,513万4千円

平成28年度 上勝町国民健康保険(福原診療施設勘定)特別会計補正予算 (補正第1号)

補正 76万7千円 追加 予備費 総額 2,676万7千円

特別会計補正予算 すべて全員異議なく可決

第1回
定例会

閉 開 会
会 会 期
平 平 14
成 成 日
29 29
年 年
3 3
月 月
22 9
日 日

平成29年

第1回上勝町議会定例会

審議案件と議決結果

平成29年3月22日(水)

○：賛成 ×：反対 ー：議長が賛否に加わっていない場合

議案番号	件名	質 疑 論	討 論	結 果	岡 本 明	星 場 眞 人	岩 本 文 昭	渡 部 厚 子	鹿 島 國 男	片 山 文 昭	明 本 惠 一	松 下 和 照
議案第1号	多目的集会施設高鉾公民館の設置に関する条例の制定について	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第2号	上勝町個人情報保護条例の一部を改正する条例について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第3号	上勝町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	有	有	〃	○	○	○	×	○	○	×	ー
議案第4号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第5号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第6号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第7号	上勝町税条例等の一部を改正する条例について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第8号	上勝町簡易給水施設条例の一部を改正する条例について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第9号	平成28年度上勝町一般会計補正予算（補正第4号）について	有	有	〃	○	○	○	×	○	○	×	ー
議案第10号	平成28年度上勝町国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（補正第2号）について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第11号	平成28年度上勝町介護保険特別会計補正予算（補正第2号）について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第12号	平成28度上勝町国民健康保険（診療施設勘定）特別会計補正予算（補正第2号）について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第13号	平成28年度上勝町国民健康保険（福原診療施設勘定）特別会計補正予算（補正第1号）について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第14号	平成29年度上勝町一般会計予算について	有	有	〃	○	○	○	○	○	○	×	ー
議案第15号	平成29年度上勝町国民健康保険（事業勘定）特別会計予算について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第16号	平成29年度上勝町介護保険特別会計予算について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第17号	平成29年度上勝町国民健康保険（診療施設勘定）特別会計予算について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第18号	平成29年度上勝町国民健康保険（福原診療施設勘定）特別会計予算について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第19号	平成29年度上勝町簡易水道事業特別会計予算について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第20号	平成29年度上勝町奨学資金特別会計予算について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第21号	平成29年度上勝町後期高齢者医療事業特別会計予算について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第22号	平成29年度上勝町高鉾財産区特別会計予算について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第23号	平成29年度上勝町福原財産区特別会計予算について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第24号	上勝町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	ー
諮問第25号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第26号	上勝町公の施設（上勝町福原宿泊体験施設）の指定管理者の指定について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	ー
産業建設常任委員会所管事務調査報告について				報 告								

主な質疑・討論

多目的集会施設高鉾公民館の設置に関する条例の制定について

問 明本議員

多目的集会施設の名称となつたが、利用の方法に違いがあるのか。

答 吉積教育委員会事務局長

使用方法等については従来と変わらない。

上勝町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について

問 明本議員

個人情報の提供は、どのように増えるのか。

答 横山総務課長

増えるのではなく、他の市町村との情報連携ができる。例えば、上勝町まで、所得証明を取り来なくても、連携している市町村で取得ができ、そのような申請をする方には便宜が図れる。

問 星場議員

個人情報流出する可能性はあるのか。

答 横山総務課長

行政間独特のラインであり、インターネットからは、物理的に無理がある。

討論

反対 明本議員

個人番号の漏えいにつながり危険な取り扱いになる。

賛 成 星場議員

日本全国内で行政がスムーズに動くためには、やむを得ない。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

問 鹿島議員

改正後、どのように変わるのか。

答 横山総務課長

改正前、介護休暇については、6カ月間の中で連続する休みは1回のみ。改正後、6カ月以内で3回まで分割し介護休暇が取得し

やすくなった。

平成28年度上勝町一般会計補正予算（補正第4号）について

問 明本議員

第三セクターの施設使用料減免は常態化している。悪循環を断ち切る意思はあるのか。

答 花本町長

第三セクターは倒産させてはならない。減免できる所は減免し存続してもらいたい。

問 片山議員

毎年多額の金額が繰越明許で計上している。去年の繰り越しの影響もあると聞くが、計画的な事業の発注はできないのか。

答 花本町長

指導はしているが、やむを得ない時もある。早期発注すれば可能であった事業もあり、各担当課長に、十分指導していきたい。

討論

反対 明本議員

補正予算に、第三セクターの減免について反対。

反対 渡部議員

第三セクターには、もう減免はしない。やり方を変える必要がある。

平成29年度上勝町一般会計予算について

問 明本議員

焼却と埋めたて、役務費と委託料の計上になった理由は。

答 多田企画環境課長

今年度より、役務費の手数料で、毎月実績払いにするので委託料より分けた。

問 鹿島議員

企業人材確保育成支援事業は。

答 多田企画環境課長

人材育成の受け入れ企業での活動費と農家への謝礼。

問 鹿島議員

地域おこし協力隊企業支援事業は。

答 多田企画環境課長

地域おこし協力隊員が法人設立登記の費用、設備、備品等購入の範囲まで対象になる補助金。

問 鹿島議員

生ごみ処理機購入補助金は。

答 多田企画環境課長

家庭用生ゴミ処理機購入費用（個人負担一万円を除く）10台分。

問 岩本議員

いろいろの新システムとは、どういうものか。

答 吉積産業課長

いろいろの受注・発注システムのバージョンアップであり、例えば、注文を受ける時間が早朝より受け付けができるシステム。

問 渡部議員

徳島大学上勝学舎支援補助金300万円の内訳は。

答 多田企画環境課長

森の学校プロジェクト、実験事業、子育て支援、事務局運営費、イベント開催等である。

問 片山議員

代替えバスの委託料がなぜ増額しているのか。

答 吉積教育委員会事務局長

代替バスの運行距離が長くなったため。



星場 眞人 議員

上勝らしい生活を どう確保するか 慎重に検討しながら 万全を期す

町長

星場

問 環境重視の本町で起きた建設リサイクル法の通知漏れ工事。その内容と今後の対応策は。

答 横山総務課長

産廃処理の法律で500万円超の工事は通知が必要だったが、新設工事は対象外と勘違いし13件が漏れた。今後は各課

に指示し適正に対処する。
問 高齢者に対する運転免許制度見直しに対する対応策を考えているか。

答 花本町長

本町には75歳以上の方が556名おり、270名が免許持ちだ。今回の改正で更新出来ない方が

問 片山議員
滞納整理機構へ何件負担金を移管しているのか。

答 傍示税務課長

2名ずつ移管し、前々年度の本税徴収額の割合で計算され、負担金も決まっている。

問 片山議員

特別保育事業の事業とは何か。

答 峯下住民課長

一時保育預かり事業、30分延長保育事業、地域子育て支援拠点事業。3つをまとめて特別保育事業。

一般会計当初予算

討論

反対 明本議員

この予算は、三セクやごみ処理問題が多く、福祉が少ないので反対する。

賛成 渡部議員

第三セクターに入れ込んでいるように見えない予算であり、新しい事業は、難航するが、チャレンジしてもらいたい。

平成29年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特定会計予算について

問 片山議員

人間ドックの受検者数はどのくらいか。一人当たりの助成額は。

答 傍示税務課長

脳検診のみ行っている。60名で町負担は65万7千120円である。

問 鹿島議員

電話健康相談の委託先は。

答 峯下住民課長

ティーベックに依託している。利用件数は100件である。

平成29年度上勝町国民健康保険(診療施設勘定)特別会計予算について

問 渡部議員

在宅酸素吸入装置は何人分か。

答 峯下住民課長

7人分4万2千円×7人×12カ月分計上している。

問 鹿島議員

持続腸圧呼吸療法装置とは

なにか。

答 峯下住民課長

無呼吸症候群の治療に使う装置である。

平成29年度上勝町簡易水道事業特別会計について

問 鹿島議員

東地区老朽施設更新計画520万6千円内容は。

答 中原建設課長

東地区は全体に老朽化している。やりかえの計画を立てるものである。

問 星場議員

統合したのに事業費が減っているのはなぜか。

答 中原建設課長

28年度に設備ができた所も有り事業費が減っている要因である。

問 片山議員

統合して何名雇用しているのか。

答 中原建設課長

検針員3名、草刈りが3名である。

平成29年度上勝町奨学資金特別会計予算について

問 岩本議員

貸付金が滞っていないか。歳入はいくらか。

答 吉積教育委員会事務局長

入金を見込んで計上している。

問 星場議員

奨学資金、寄附金の歳入はどこに入るのか。

答 吉積教育委員会事務局長

特別会計で基金として計上している。

問 片山議員

何名に貸し付けして一名当たりはいくらか。

答 吉積教育委員会事務局長

高校生年間24万円、大学生年間36万円、各一名ずつである。

質疑

上勝町公の施設(上勝町福原宿泊体験施設)の指定管理者の指定について

問 鹿島議員

指定の期間が一年となつて

いるが、3年間出来たのではないか。

答 多田企画環境課長

他の施設との管理周期を合わせるため。

問 鹿島議員

過去にも同じ事例はあったのか。

答 多田企画環境課長

一年前に事例はあった。

教育委員会委員に
同意しました

●任期 平成29年4月1日より
平成33年3月31日まで



新田 博枝 氏

人権擁護委員に
同意しました

●任期 平成29年7月1日より
平成32年6月30日まで



藤井 園苗 氏

減少。猪51頭、猿19頭は横ばいだ。被害対策は捕獲振興と侵入防止柵の増設も考える。また、猟期中の報奨金は協議し検討する。ジビエの研究は進めており、猟友会の協力をお願いしたい。

答 吉積産業課長
農地法上の下限面積は50アールだが、本町は弾力運用で30アールだ。さらなる引下げはメリット・デメリットがあり今後、慎重に検討したい。

問 鳥獣被害の現状と駆除の成果はどうか。生体処理やジビエ流通の構築は考えないのか。

答 吉積産業課長
本町での捕獲数は三年間の比較で鹿が953頭から681頭に、カラスが754羽が368羽に

発想転換で 観光産業の育成も

問 中国人の爆買いは有名だが、外国人の勧誘には多言語語の案内板、WiFiやSNS等の整備を。

答 花本町長

確かに外国人観光客は増えているが、アート作品に黄色の看板(サイン)を出して景観を阻害したことがあり、検討課題としたい。WiFiは町内公共施設9か所に整備した。



アート作品 黄色の看板



明本 恵一 議員

上勝バイオ精算、名ばかり残した 明本

全員解雇したが一名雇用した 町長

問 債務をすべて税金で払った。従業員全員解雇しバイオの名前だけ残した。会社継続は偽装ではないか。

答 花本町長 種菌の養生始めた。

問 補助金を、まだ注ぎ込んでいるが、あと何円必要か。

答 花本町長 現在1億1千100万円位だ。あと450万円位、最終1億1千500万円位だ。

問 浜田社長が運転資金を提供するが、経理上の扱いは、バイオは借入れか。

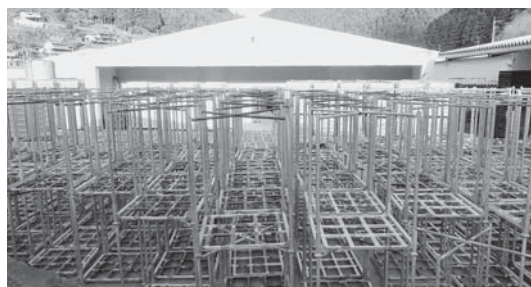
答 花本町長 町の設備改良費等は浜

田氏が出す、経理は明確にする。

バイオ
ずさんな会計処理

問 影山氏は現住所を月ヶ谷温泉とし登記。ところが実際は大阪の自宅を現住所としてバイオに来るのは全て出張扱。本宅からの往復旅費と宿泊費を不当に利得した。返還を求めよ。

答 花本町長 会社の旅費規程によりバイオの営業費で支払われた。返還のケースでない。



上勝バイオ 使えなくなった栽培棚

問 補助金の名称「再建支援補助金」の実態は「精算補助金」ではないか。

答 花本町長 ほだ木の搬入等進めている。「精算補助金」ではない。

問 「今後、町資金の垂れ流し」はしないか。

答 花本町長 赤字補填はしない。

町の自立にクリーン・エネルギーを

問 太陽光発電に適地あり。町は開発にのり出すべきでは。

答 多田企画環境課長 温暖化対策以外の経済的なメリットが見えない。

答 花本町長 具体的に適地を持つ方があれば、提案をいただければ調査する。

問 もくさんがバイオ・ガス発電を提唱しているが。

答 花本町長 森林資源の活用は喫緊の課題だ。人材を集めて組織立って進めるのが一番だ。

福祉・安全重点の町政に

問 お年寄りの無料バスを実施せよ。

答 花本町長 近隣市町村など状況を見て検討する。

問 高校生まで医療費無料化を実施すべき。

答 花本町長 公平なサービスという観点からは、メリットは若干少ない。

問 「テレビだけ世帯」から接続料を取る不公平。勝浦町では一年以内の改善を検討しはじめた。

答 花本町長 両町共同事業だ、歩調をあわす。

問 ゴミの収集・運搬は廃掃法に従って町がすべきだ。町民のゴミ負担が重すぎる。

答 花本町長 違法という国・県の指摘は無い。

問 見せ物化だ。新ゴミセンター設計はやり直すべき。

答 花本町長 理念に賛同する企業の誘致につなげる施設に整備するものだ。

問 本庁ATMをはさみ発電設備設置とガス貯蔵所の設置は危険だ。電磁波の影響も心配される。

答 横山総務課長 小規模で電磁波による影響はほぼ無い。

問 ガスの爆発等の危険性は。

答 花本町長 爆発エキスパンドメタルを設置した。飛び散ることはない。

アララギ学習の成果は

片山

学習に取り組む姿勢が積極的になった等、一定の成果を修めている

教育長

小中学校での成果は出ているのか

問 アララギ学習を、去年度からは中学校、今年度から小学校へと幅を広げてきたが全校生徒が受講しているのか。

答 立川教育長 中学校は、ほぼ全員の方が登録している。

小学校では、8割ぐらいが登録している。

問 どのような成果が出ているのか。

答 立川教育長 中学校では、学習に積極的に取り組む、自分の学習スタイルが確立された、緊張感を持って集中できる、勉強の方法を質

答 立川教育長 全員が第一志望に近いところに合格出来たと中学校より報告を受けている。

問 学習会を実施して初めての高校受験であったが、結果はどのようなであったか。

問する等の生徒が増えて

問 全国的に小中学生の体力が低下していると聞く。

昔はスクールバスも無く何キロも徒歩通学していたので自然と体力がついていた。近年は、スクールバスがあり徒歩通学者は少なくなっている。

このような状況の中、本校の小中学生と全国平均はどのようになっているのか。

答 立川教育長 小学校は5年生が8科目、中学校は2年生が9科目、年1回診断テスト



小学校のアララギ学習

住宅用地の
取得状況は

問 現在、住宅用地として取得している土地はあるのか。

問 住宅用地、また、候補地があるということですから、有効に活用するため、15年を経過すれば払い下げ、家賃の免除等条件をつけて募集する子育て世代住宅の建設を実施しては。

答 中原建設課長 用地費、造成費、設計費、建築費等と家賃収入を差し引きすると残存価格が高額となる。また、管理費、修繕費等の問題もあり難しい。

答 多田企画環境課長 取得しているのは中津地区1,203平方メートルの1カ所です。

地元より候補地として谷口、野尻、中津地区の3件で申し出がある。

条件付
若者住宅の
建設を住宅と教育を
セットにして
子育て世代の
移住促進を

問 住宅は15年以降は、払い下げ、家賃の無料化等検討の余地はあります。教育は無料の公設塾がある。以上の2本柱でアピールし、人口の減少、学校の維持継続を図る。住宅と教育をセットに子育て世代の移住促進をしてはどうか。

答 花本町長 Uターン者優遇施策を実施してきたが、町内で頑張っている者にどのような支援をしてくれるのかと言う声もある。この問題について町民の理解を得て効果が上がることが出来るのか、どの程度がいいか考えて進めて行きたい。



片山 文昭 議員



岩本文昭 議員

岩本

産業課長

町内非農地の面積はどの位あるのか

44.53ヘクタールである

問 農地中間管理機構とはどんな組織か。

答 吉積産業課長

県の第三セクターで公的機関である。農地を貸したい人から農地を借り受けて、借りた人にマッチングする機関である。

問 農業委員会による非農地調査の対象面積はいくらか。

答 吉積産業課長

409・14ヘクタールを29年度中に調査済みであり10・88パーセントが非農地と判定されている。

問 93万9千円が新年度の予算に調査費が計上されている。目的はなにか。

答 吉積産業課長

非農地44・53ヘクタールを除けた遊休農地と現在耕作されている農地を再度調査する費用である。

問 この調査は何名で何日かけたのか。

答 吉積産業課長

13名で55・8日かかっている。

問 非農地と判定された。一部の方より苦情が出ている。その対策は。

答 吉積産業課長

そういう方には今回非農地通知を送っていない。29年度中にも現況調査をおこなう。調査は毎年実施する。

問 今後高齢化の事もあり難しい問題ではある。非農地とならない対策は考えているのか。

答 吉積産業課長

農地は集落の環境問題もあり、今後の重要課題である。充分検討していきたい。

問 実質的な課税はいつからになるのか。又他町村の状況はどうか。

答 吉積産業課長

29年度に農地の利用状況調査を行い、遊休農地については平成30年度課税分より固定資産税の評価額が1・8倍になる。県内の自治体で課税強化された所はまだない。

林道生実八重地について

問 総延長と進捗割合はどうか。

答 中原建設課長

総延長17・7キロメートル、進捗割合が約73パーセント、約13キロメートルが完成している。

問 後何年で完成が見込まれるのか。

答 中原建設課長

年間予算額は両工区で6千万円であり残りの延長が約5キロメートルある。メーター30万円程かかる状況となっている。



林道生実八重地線の傷んだ路面

問 起点側は既に開通し、供用されているが舗装等が傷んでいる。対策は。

答 中原建設課長

状況は把握している。管理は町で有るが、県営で実施しているので県と協議して対応していきたい。

アート事業はどうなる

渡部

老朽化を調査して継続

企画環境課長

問 補修の必要な作品はあるか。

福原のアートは竹なので作りかえが必要。どうせなら新しい作品を建ててもらっては。

福原のアートは落し物もないようだ。

問 補修となると誰がするようにするか。

答 多田企画環境課長

正木と福原の新しい管理団体の決定が先決問題。

答 多田企画環境課長
老朽化、耐震等専門家に診断してもらい補修していく。

ゼロ認証制度

問 ゼロ・ウェイストの認証制度の基準とは。

答 多田企画環境課長

対象は飲食店で
①食材の地産地消
②食料・資源の調達
③おしぼりなどの無料サービス
④ごみ削減へ消費者の参加
⑤利用者の容器持ち込み
⑥再利用
によってごみ発生抑制に取り組んでいること。こ



竹のアートは新しいに限る

のうち2、3項目に取り組めれば認証を受けられるシステムにしていきたい。

問 対象は飲食店だけか。予算と時間をかけた割にレベルが低い。もっといいものにできないのか。

答 多田企画環境課長

新たな分野への拡大も進めていきたい。

ごみステーションに関して

問 新しいごみステーションの完成後には見学者が増えるだろうが、野焼きやごみを持ってこない人があるので箱物行政だ。ごみを持ってこない家庭の数は。

答 多田企画環境課長

把握できていないが、100%ごみステーションにごみを持ってきている人はないと思う。野焼き、不法投棄などの情報があれば通報していただきたい。2024年までに各集落等へごみ分別の説明に行きたい。

緑の協力隊復活を

問 いろんな移住促進制度があるが、良い点、悪い点は。

答 吉積産業課長

インターシップは移住の可能性を測れるが、

問 緑の協力隊は他の2つと違って、ゆるいタイプの人が参加できる。地域おこしは3年、緑が1年滞在ということを見ると、緑の協力隊は滞在期間が短い割に定着率が高い。復活させては。

答 吉積産業課長

インターシップ事業と研修地が取り合いになることもあり、今は考えていない。

その他、IP電話の調子が悪いこと、森の学校設立、新しい保育園建設について質問しました。

町政を問う



渡部厚子 議員



鹿島 國男 議員

サステイナブルアカデミーの運営は

鹿島

企画環境課長

3月をめどに株式会社で

問 サステイナブルアカデミーは、どこが運営するのか。

答 多田企画環境課長

サステイナブルアカデミーは、3月をめどに株式会社と考えている。施設長には、地元の方でゼロ・ウェイストの理念を理解して経験豊富な人

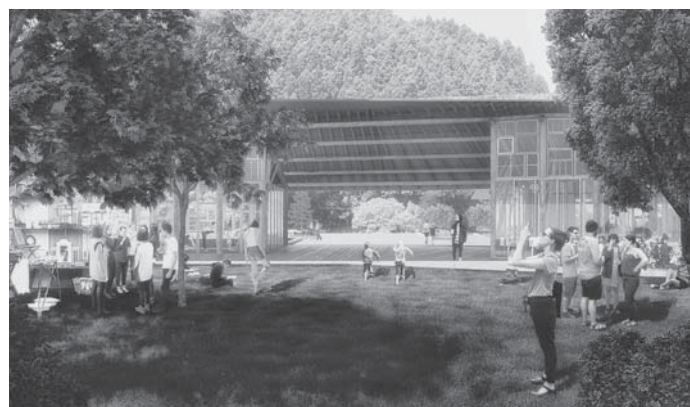
を考えている。NPOゼロ・ウェイストアカデミー組織体制を考えると、中間処理業務の委託は、直営方式で対応したい。

答 花本町長

建物ができあがるまでは、株もくさんに一部を借りて仮設する。そのときには直営で運営してい

答 多田企画環境課長
2020年へ向けてゼロ・ウェイスト宣言の達成である。上勝町地域創生総合戦略において新しい人の流れをつくる。企業の誘致、観光来町者の1万人、リサイクルの高レベル化、平成25年度実績75%、平成30年度80%（平成27年

問 上勝町の未来は。
答 建物が出来上がるときには、組織もどくが受け持つかも決まると思う。



ごみステーション (サステイナブルセンター イメージ図)

度見込み79%)。埋め立て量の削減、平成25年度75トン、平成30年度60トンを目指している。

介護の支援について

問 介護の認定が変わって利用者に不満の人はいなかったか。

答 峯下住民課長
包括支援センターに聞き取りをしたが、平成28年度中においては不満の人はなかった。介護度が



上勝診療所 川村先生、幸田所長

答 傍示税務課長
本町の医療費は、昨年並みに低いレベルで給付も低いので、今上げることはない。

国保税について

問 国保税が来年から上がる市があると新聞に出ていたが、上勝町は。

支援2から支援1になったことで、デイサービスの利用回数が増え、1回になってしまい、もっと利用したい人はいると思う。支援2から支援1に下がると言うことは、体の調子が良くなったので、本人や家族の人はうれしいことと思う。

歯科について

問 歯科の現状は。

答 峯下住民課長

毎週木曜日に開いており、月平均4日、平成27年度は、49日で600人が利用。1日平均12名が利用している。今後も現状で維持したい。

診療所について

問 4月からの診療所の先生は。

答 峯下住民課長

4月からは、所長に幸田先生、それと県立中央病院から川村先生と勝浦病院から樫原先生が来る。



岡本 明 議員

杉地線、杉地上線のアスファルト舗装の改善を

岡本

現場を見て早急な対応も

建設課長

問 杉地の住民の方々が古い石積みを綺麗にして観光客を呼びたいという所があるが、近辺のアスファルトが傷んでいる。工事は出来ないか。

答 中原建設課長

舗装の補修工事については、予算と照らし合わせながら順次対応となり、通行量の多い所からかかっている状況である。現在、林道工事も行っており、現場を見て対応したい。

問 とても傷んでいると思うので、早急な対応をしてもらいたい。

年 一度は全路線清掃を

問 現在、町道の作業状況と作業予定は。また、

町道は全体で何キロメートルあるのか。

答 中原建設課長

春から秋は草刈り、台風時には各路線の見回り、落石等の除去、秋から春は落ち葉等の除去・清掃と側溝の整備、清掃を行っている（主要路線）。町道は全体で168路線、距離は185キロメートル。

問 旭地区で作業しているのを見たことがない。最低でも年に一度は路線に入り、作業をしてもらいたい。箒を使い、もっと綺麗に仕上げてもらいたい。

県道16号線（徳島上那賀線の落ち葉を撤去することは出来ないか

問 台風、大風で道に枯れ葉が沢山たまっている。落ち葉を踏み、スリップ事故をしかねない。撤去する事は出来ないか。

答 中原建設課長

県が管理している路線であり、過去にいた修理工がない状態。状況を見ながら、県と協議して行きたい。



県道上那賀線 旭地区の様子

せめて白線だけでも引き直しを

問 県道の白線があちこちで消えている。雨の日などは特に、道路の幅が分りにくく危険である。引き直しは出来ないか。

答 中原建設課長

町として住民目線に立ち、優先順位を決め要望して行きたい。

消防団出動時の問題点について

問 昨年の民家火災後、消防本団の役員会でのような意見が出たのか。

答 横山総務課長

・自分の身を守るための装備をして活動にあ

たる。

・火災元の分団は本団と共に消火班、水利展開等指揮の協力。水利が少なかったにも関わらず、用水の利用と長距離の水利運搬等に対応できた。との意見があった。

問 多くの消防団員が現場に自車で乗り付け鍵をかける、報道の車を優先的に通す、分団間で無線の連携が出来ていない、などの問題点が多々あったと聞く。検討し是非改善していただきたい。

災害復旧工事について

問 災害復旧工事の作業道を設置するために勝浦町から砂が運ばれているが、問題はないのか。

答 中原建設課長

以前は町内で採取した砂利を使用した事があるが、条件が良い場所がなく、勝浦町から採取し搬入したと聞いている。

問 山砂を川に入れ、濁らせるよりも、川砂を入れた方が良くと思うが、大量の砂を入れると魚が泳ぐ所がない。旭川の災

害復旧工事では、大量に搬入した割には狭い範囲の工事であった。昨年の教訓を生かし、復旧範囲を広げる事は出来なかったのか。

答 中原建設課長

災害復旧工事は、予防保全的な分で工事は出来ない事業である。今後においては、傷んでいる所だけを見るのではなく、周辺状況も見ながら、県に要望していきたい。



旭川 災害復旧工事（田野々）

他に、「八重地センターセコイヤ前の側溝改修」「福祉バスの買い替え」「JA加工所裏の町有地の利用方法」「第三セクターの施設使用料について」等について質問した。

まちのようす



彩公園のさくら（正木）



棚田の農作業始まる（生実）



景観整備伐開作業（傍示）



棚田の春（市宇）



ヒルクライム ウェーブスタートの様子（正木）



はつらつ一年生



（片山）

私達議員も今回の選挙は無投票当選でありました。今一度議員としての立場を考え、町民皆様にご理解いただけるような活動をしていきたいと思っております。

さて、今回の町長選挙も無投票当選となりました。無投票を重く受け止め、町民の声に耳を傾け町民のための行政を心がけてもらいたいものです。

4月に高い山で冠雪が見られ、桜の開花も遅れ、4月までの降水量が少なく今年は異常気象が心配されます。

編集後記

